

美浜町社会福祉協議会

でんでんむしの家

令和5年度 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 10月 25日 (18:00~18:15)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 6人

() 内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	0人	2人	4人	6人

前回の改善計画	・利用開始後2カ月を目処に、アセスメントシートを事務所の机に置き、得た情報を随時書き込む。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用開始後2カ月を目処にアセスメントシートを事務所の机に置くことができていなかった。 ・知り得た情報は介護記録や報連相ノートに書き込んでいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	5	0	0	6
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	4	2	0	6
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	5	0	0	6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	5	1	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・朝のミーティングと昼の申し送りの時間を設けたことで細かな変化や遠方にいる家族からの情報を職員間で共有できた。 ・利用者の情報を報連相ノートに記入しミーティングや申し送り時に共有できた。 ・慣れるまでは介護記録に詳しく記録を記載している。 ・笑顔で分かり易い言葉を選び声かけするようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用開始後2カ月を目処にアセスメントシートを事務所の机に置くこと。 →個人情報保護のため。 ・支援内容を家族が決定することが多いこともあり、家族への支援が手厚く利用者本人の思いや意思が反映されていない。 →サービス開始時は利用者も慣れておらず本心が言いにくい。本人のニーズ把握不足。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・介護記録と報連相ノートを読み込み、その方の情報を理解する。 ・本人からのニーズを把握するため、その方に寄り添うことを意識する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月25日(18:16~18:25)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 6人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	0人	0人	6人

前回の改善計画	・日々の利用者主体の「～したい」をコミュニケーションから把握して、出勤職員で柔軟に対応する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者の希望を聞くことができ、外出支援や買い物支援等柔軟な対応ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	3	3	0	6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	4	1	0	6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	5	1	0	6
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	0	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の希望や目標に応じた外出や買い物支援ができた。 ・利用者の思いや希望を聞き取り、職員も一緒に考えて作品作りや裁縫などを行った。 ・ミーティングや内部会議にて利用者の個々の目標や希望について話し合いを行った。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・実践した内容の振り返りや改善点の模索を職員間で共有不足になる。 →時間がない。意識が低い。 ・「～したい」を自ら発言されない利用者へのコミュニケーションが不足になる。 →難しい。じっくり向き合う時間と余裕が持てていない。 ・職員から依頼している活動が多くあり、利用者主体で活動できていない場面がある。 →行事の日時が近づくと職員が焦ってしまい利用者主体での活動ということを忘れてしまう。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・「～したい」を発言しにくい利用者には、選択し易いよういくつかの支援方法をお伝えし選択していただく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月25日(18:26~18:39)

3. 日常生活の支援

メンバー 6人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	0人	6人	6人

前回の改善計画	・内部会議にて毎月1人ずつ以前の暮らしについて共有する時間設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	・1回の内部会議で利用者4~5人のケース検討は行ったが、1人ずつの以前の暮らしについては時間を設けられなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	0	4	2	6
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	5	0	0	6
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	6	0	0	6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	6	0	0	6
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	5	0	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・利用者の変化についてはその都度情報共有を行い臨機応変に対応できている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・利用者の以前の暮らしについて把握ができていない。 →訪問だけの利用者や口数の少ない利用者から十分な情報収集の時間がない。 →以前の暮らしより現状にばかり着目してしまう。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・内部会議にて利用者の日常生活についての詳細を話し合い理解を深める時間を設ける。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月25日(18:40~18:51)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 6人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	1人	0人	2人	6人

前回の改善計画
・お便りの配付を通じて関りが持てるよう、西郷地区の民生児童委員・福祉委員の地図を職員一同で作成する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・3月のお便り配付前は職員が協力して地図の作成に取り組めた。 ・9月のお便り配付時は3月のお便り配付時と民生委員福祉委員さんとメンバーが一緒だった為新たな地図の作成は行っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	3	3	0	6
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	6	0	0	6
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	3	0	6
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	4	2	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・区費や寺費を納めることが難しい利用者の代理として職員が区長等に納めている。 ・本人との会話の中で地域の方との繋がりを知った際に記録に残している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・関わっていない時間帯に利用者がどのようにしているのか分からない。 →通い時、訪問時以外で利用者さんの行動を探る術が見つからなかった。 ・お便り配付用の地図を職員一同で作成できなかった。 →3月お便り前はできたが、9月お便り時は新たに作成する必要がなかった。 ・利用者が入院や退院した事を地域の民生委員や福祉委員に伝えること。 →入院した事退院した事の動揺とその事務処理や対応にばかり意識があり気が回らなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者が入院退院した際は、集落の民生委員や福祉委員、社協の地域福祉職員に連絡する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月25日(18:52～19:06)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 6人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	2人	3人	6人

前回の改善計画	・利用者との関わりがあった際、介護記録の「地域との関わり」欄に記入して把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・介護記録には記入しているが、「地域との関わり」欄の認識が甘くその欄に記入できていないことが多い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	2	3	0	6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	4	0	0	6
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	3	0	0	6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	4	0	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の状態やその時のニーズに応じて柔軟な支援ができた。 ・コロナ5類となり、感染対策を継続しながら地域との関わりを持つ機会を増やせている。 ・利用者からの買い物希望や外出の希望に対して対応できた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者との関わりがあっても「地域とのかかわり」欄への記録ができていない。 →介護記録への記録は定着しているが、「地域とのかかわり」欄へ転記することが定着していない。 ・利用者とその地域とのつながりについて深く理解できていない。 →そのつながりについて深く聞き出し理解する時間が持てていない。 ・「宿泊」のサービスが今年度提供されていない。 →「宿泊」サービスを必要とする利用者または利用者家族が居なかった。ニーズを広く把握することができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者のニーズ、利用者家族のニーズを広く把握し、「宿泊」サービスが必要に応じて提供できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月25日(19:07~19:20)

6. 連携・協働

メンバー 6人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	0人	3人	6人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">各地区のサロンや行事の開催状況を把握して、可能な限り出向き参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">郷市区の防災訓練や久々子区のみんなの食堂には参加できた。各集落のサロンの日程を把握できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	2	1	3	6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	1	4	6
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	3	0	2	6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	4	2	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">担当職員として担当地区の福祉委員会に参加できた。みんなの食堂で地域の方々と交流しながら料理をしたり交流や連携を深めることができた。郷市区のサロンを自事業所で行うように民生委員福祉委員と相談し実行した。回覧板やご寄付に訪れる方と定期的にコミュニケーションをとって情報交換をしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">サロンへ参加する役割りや機会がない。 →非常勤職員は集落担当の割り振りがなく参加する機会がない。コロナが5類になっても地域の行事等に参加できていない。 →5月に5類になったが、コロナ禍での馴染みが抜け切れていない。各地区の行事の開催状況が分からず、積極的に参加できていない。 →各地区の行事の状況を把握することに時間を費やしていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">各集落のサロンや行事の情報を集め、事業所内でその情報を共有し、出向ける職員は参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月25日(19:21~19:34)

7. 運営

メンバー 6人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	0人	6人	6人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">運営推進会議にて、事業所を活用したイベントの開催を提案して実行に向けて取り組んで行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">運営推進会議にて事業所を活用したイベントの開催を提案できなかった。郷市区ふれあいサロンを7月16日に行うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	1	4	0	6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	6	0	0	6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	3	0	6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	2	3	1	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">愛郷会は2ヶ月に1回事業所を活用して行われ、郷市区ふれあいサロンも事業所で開催できた。利用者が手作りで作成した作品を町内のイベントの一角に置かせていただき事業所のPRにつなげた。事業所前の川の掃除や事業所周りの草取りを定期的に行い地域の環境美化に努めた。郷市区の防災訓練に参加した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">コロナ5類になったとは言え積極的に地域に出向くことや利用者と一緒に地域と繋がる活動が少なかった。→コロナ禍での馴染みが抜け切れていない。事業所を困り事や悩み事の相談場所としてのPRが不足している。→お便りとブログで行っている相談場所としての見出しが小さい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">事業所を活用し集落や地域を巻き込んだイベントを提案し、実行に向けて取り組む。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月25日(19:35~19:49)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 6人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	0人	6人	6人

前回の改善計画	・内部研修にて、BCP(事業継続計画)について勉強会を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・内部研修にてBCPについての勉強会を行えていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	4	0	0	6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	1	0	2	6
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	1	4	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	5	0	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・認知症介護実践者研修、認知症介護管理者研修を3ヶ月に渡り受講できた。 ・内部研修、合同研修への参加はできた。また、参加できなかった場合は資料を把握するなど努めた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・外部研修がコロナの影響で開催がなかったり、中止となり参加できなかった。 →コロナによる開催自粛のため。 ・BCPについての勉強会ができていない。 →別の内容で研修や会議をしており実施できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・年に1回は職場外の研修に参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月25日(19:50~20:06)

9. 人権・プライバシー

メンバー 6人

()内は資料のみ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	0人	0人	6人

前回の改善計画	・利用者本人の立場に立ち羞恥心や想いを十分に理解して接する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者本人の立場に立ち意識して取り組めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6	0	0	0	6
②	虐待は行われていない	6	0	0	0	6
③	プライバシーが守られている	2	4	0	0	6
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	0	4	6
⑤	適正な個人情報の管理ができている	0	4	2	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・個々の情報共有や申し送りを事務所でやるなど心がけた。 ・排泄介助の際、特に羞恥心に配慮した。 ・身体拘束、虐待に関して十分に注意した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・パソコンを開いたまま席を離れたことにより、誰でも個人情報が閲覧可能になってしまっている。 →次の業務に急いでしまいパソコンを閉じることを忘れる。 ・成年後見制度への理解が薄くどう活用したら良いのか分からない。 →学習不足。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・内部研修で成年後見制度についての勉強会を行う。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 美浜町社会福祉 協議会	代表者	乙見 康夫	法人・ 事業所 の特徴	当事業所は民家を改修した建物で家庭的な雰囲気大切にしており、地域に溶け込んだ佇まいで、地域との繋がりを重視している。利用者が今まで築いてきた地域や家族の中で一人ひとりが望む暮らしが出来るように、必要に応じて機能を活かせる支援をしている。 また、家族ともコミュニケーションを多く持つようにし情報を共有するとともに、家族を支援することも意識している。
事業所名	でんでんむしの家	管理者	高木 義則		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	人	1人	1人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所評価、外部評価を職員間で共有する。また、内部会議等で定期的に改善計画への取組みについて確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所評価は職員で時間を設け全体として意見を出していることが分かった。 前回の改善計画については異動してきた職員が改善計画を把握しておらず、職員異動時の細かな引き継ぎと定期的な確認や改善計画の見える化が必要だと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 普段の業務で意識を持ち取組めるよう、工夫されていた。 具体的に取組める改善計画になっていた。 普段の申し送りでは話し合いが行われない踏み込んだ内容を事業所評価では話し合えている。 普段の業務に加え、各課題に意識を持ち取組むなど職員に求められることの多さを感じた。 異動してきた職員への十分な引き継ぎが必要だと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に改善計画の内容を確認し、どのような取組みをしているかの振り返りを行う。 異動してきた職員には改善計画の内容や事業所の方向について細かな引き継ぎを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 玄関前の花や植木を絶やさないよう、利用者と一緒に管理を行い立ち寄りやすい雰囲気作りを行う。また、でんでん図書館を継続していき地域の方が訪れやすい取組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所前の花の管理を利用者がやりがいとして行っていることが職員の説明により理解できた。 ふれあいサロンの場所として開放したり、餅つき会を開催して事業所に訪れやすい取組みを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物は古いが、その雰囲気が利用者にとっては懐かしく、民家作り故に壁が近く転倒防止の観点があることが分かった。 職員不在時は札が掛かっており分かり易いが、職員滞在時に「職員います。お話できます。」等の札を掛けたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事やイベントだけでなく普段から地域の方が気軽に訪れてもらえるようには、どのような取組みが必要なのかを内部会議にて再度検討する。また運営推進会議にて意見を頂く。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> • お便りやブログを定期的に作成して住民に事業所を知ってもらおう。また、お便りの区長への配付依頼や民生児童委員、福祉委員への配付を職員で分担して行い職員の顔を知ってもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> • お便りの発行を継続して行っており、各地区でも認知はされていると感じる。 • お便りは手書きで温かみがあり、大変良い。 	<ul style="list-style-type: none"> • コロナが5類となり事業所の職員が地域の防災訓練やみんなの食堂に参加していることが分かった。 • 事業所の認知が立地地区では高いが、その他の集落に於いては高いとは言えない。 • 事業所が相談する場所という認知が低いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> • お便りやブログを作成することで事業所を知っていただき、更に行事を行うことで事業所を広く認知していただけるように取組む。また同時に事業所が相談できる場所であることを周知していく。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> • コロナ禍でも再開している地域行事に可能な限り職員が参加して立地区以外の地域に職員との顔繋ぎを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> • コロナが5月で5類となったが職員は立地区以外の行事に参加することができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> • 運営推進会議の報告にて利用者がみかん狩り等の外出や買い物支援を行っていることが分かった。 • 利用者が各地区の行事やサロンなどに参加しているかは分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 利用者が住んでいる地区のサロンや行事が再開しているかを把握する。また、利用者の参加への希望や必要があれば支援する。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 運営推進会議資料に各利用者の情報を可能な限り記入する。また、運営推進会議に各利用者の希望に対する取組みを報告し、課題等を検討内容として挙げる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 運営推進会議の資料に各利用者の要介護度、年齢、出身地区が記載されており理解が深まった。 • 運営推進会議の資料に利用者の行った取組みが明記してあるが取組みについての課題の報告が無かった。 	<ul style="list-style-type: none"> • 普段は事業所を訪れることができないので運営推進会議に参加することにより利用者の様子や取組みを理解することができる。 • 地域の心配な方等の話し合いは福祉委員会で行っているため、運営推進会議で行わなくても良いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> • 運営推進会議にて利用者の様子や活動している姿、また職員の仕事に取り組んでいる姿を写真や映像で見せて頂き、日頃の事業所の様子を知ってもらおう。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 防災計画、事業継続計画の策定に向け研修への参加を行い進めていく。また、運営推進会議にて進捗状況の報告を行う。地域の防災訓練に職員が交代で参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 事業継続計画（BCP）については法人全体で作成していたが、運営推進会議で進捗状況の報告が無かった。 • 立地区の防災訓練に職員が参加し地区の住民と行動した。 	<ul style="list-style-type: none"> • 運営推進会議での報告で事業所の火災想定避難訓練のことは知っていたが、日中に行うため参加することが難しい。 • 地区での防災訓練に職員個人が参加するのではなく出勤した職員と利用者を含めた事業所として参加したらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 地区の防災訓練に事業所として参加し多様な訓練内容を身につける。また事業継続計画（BCP）の見直しや改正に取組む。